

1 組合せについて

- (1) (公財)日本バドミントン協会大会運営規程を優先するが、シードが少ないため下記2. 組合せ基準(シード順位基準)にもとづいて、シード順位を決定する。
また、シード対象プレーヤーをすべてシードとするため、シード数の上限、下限は設定しない。
- (2) 順位が同位の場合は、ジュニアナショナルチームの直近のランキングを優先する。その後、ジュニアナショナルチーム以外のプレーヤーを抽選する。
- (3) ジュニアナショナルチームのランキングは、組合せ会議前のものとする。
(2026年は 7/30 発表)
- (4) シード対象プレーヤーは所属を考慮しない。シードプレーヤー以外は、フリー抽選とする。
- (5) 同一都道府県およびブロックのプレーヤーは、できうる限り均等に割り振るようにする。したがって、近隣都道府県プレーヤー同士の初戦対戦もあり得る。
- (6) ジュニアの部(シングルス)において、2名以上参加している都道府県のプレーヤーが、8シードまでのパックに入る場合、必ず当該都道府県の下位プレーヤーを入れる。
- (7) ジュニアの部(ダブルス)において、2組以上参加している都道府県の組が4シードまでのパックに入る場合、必ず当該都道府県の下位の組を入れる。
- (8) ジュニア新人の部において、8シードまでのパックには、必ず各都道府県の下位プレーヤーを入れる。
- (9) ジュニア新人の部において、その年度開催の全国小学生ABC大会のAの2位までのプレーヤーは、当該都道府県のエントリー順位が下位だったとしても、8シードまでのパックには入れない。
- (10) 前回大会の初回戦で対戦したプレーヤーが、再び初回戦で対戦することを避ける。 また、同一都道府県のプレーヤー同士、ならびに単と複の同一プレーヤーの初回戦での対戦は避ける。

2 組合せ基準(シード順位基準)

(1)ジュニアの部

○シングルス

- ①本年度全国高等学校選手権大会4位まで(1位2位3位の順)
- ②前年度全日本ジュニア選手権大会 4 位まで(1位2位3位の順)
- ③本年度全国高等学校選手権大会ベスト 8 まで
- ④前年度全日本ジュニア選手権大会ベスト 8 まで
- ⑤本年度全国高等学校選手権大会ベスト 16 まで
- ⑥前年度全日本ジュニア選手権大会ベスト 16 まで
- ⑦BAJ推薦者
- ⑧本年度全国中学校大会 2 位まで

○ダブルス

- ①本年度全国高等学校選手権大会4位まで
- ②前年度全日本ジュニア選手権大会 4 位まで
- ③本年度全国高等学校選手権大会ベスト 8 まで
- ④前年度全日本ジュニア選手権大会ベスト 8 まで
- ⑤本年度全国高等学校選手権大会ベスト 16 まで
- ⑥前年度全日本ジュニア選手権大会ベスト 16 まで
- ⑦BAJ推薦者
- ⑧本年度全国中学校大会 2 位まで

(2)ジュニア新人の部

○シングルス

- ①本年度全国中学校大会4位まで
- ②前年度全日本ジュニア選手権大会(新人の部)4位まで
- ③本年度全国中学校大会ベスト 8 まで
- ④前年度全日本ジュニア選手権大会(新人の部)ベスト 8 まで
- ⑤本年度全国中学校大会ベスト 16 まで
- ⑥前年度全日本ジュニア選手権大会(新人の部)ベスト 16 まで
- ⑦BAJ推薦者
- ⑧本年度全国中学校大会単出場者(但し、開催地枠での出場者は除く)

以上